

令和 7 年 7 月 3 日
消 防 庁

令和 7 年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

令和 7 年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰受賞者は、次のとおりです。

安全功労者表彰受賞者 個人 27 名、団体 9 団体

消防功労者表彰受賞者 消防団員 6 名、女性防火クラブ員 7 名

(受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。)

安全功労者総務大臣表彰は、「安全思想の普及徹底又は安全水準の向上のため、各種安全運動、安全のための研究、もしくは教育又は災害の発生の防止もしくは被害軽減に尽力し、又は貢献した方々の士気高揚を図る」という目的で、消防職団員以外の個人・団体を受賞対象とし、行っているものです。

消防功労者総務大臣表彰は、「国民の生命、身体、財産を災害から防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及等に献身的に尽力している消防団員及び女性防火クラブ員の士気高揚を図る」という目的で行っているものです。

○ 安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式

- 1 日時 7 月 10 日 (木) 13 時 30 分～14 時 00 分
- 2 場所 合同庁舎第二号館地下 2 階講堂
東京都千代田区霞が関二丁目 1 番 2 号



連絡先

消防庁総務課

渡部係長・小沼事務官

電話 03-5253-7521 (直通)

E-mail: fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してくだ
さい。

令和 7 年度

安全功労者総務大臣表彰
消防功労者総務大臣表彰

令和 7 年 7 月

消 防 庁

1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- やま だ 山 田 はるみ（宮城県・仙台市女性防火クラブ連絡協議会 顧問） ----- 1
- ほし ゆたか 星 豊（福島県・喜多方地方消防防災協会 顧問）
- なが しま きよし 長 島 清（埼玉県・羽生市危険物防火安全協会 会長） ----- 2
- やま ぐち よし ろう 山 口 佳 郎（埼玉県・川越地区危険物防火安全協会 会長）
- はやし たかし 林 敬（千葉県・船橋市自衛消防協会 会長） ----- 3
- いし わた まさる 石 綿 勝（東京都・世田谷防火管理協議会 相談役）
- かわ さき けい ぞう 川 崎 慶 藏（東京都・玉川危険物安全協会 会長） ----- 4
- さい とう かめ ぞう 齊 藤 亀 三（東京都・調布災害防止協会 会長）
- すず き のり みち 鈴 木 規 方（東京都・田園調布防火管理研究会 会長） ----- 5
- すず き また え もん 鈴木 又右衛門（東京都・千住防火管理研究会 会長）
- たか はし つとむ 高 橋 勤（岐阜県・一般財団法人岐阜県消防設備協会 部会長） --- 6
- なか やま のり こ 中 山 紀 子（岐阜県・郡上市女性防火クラブ 会長）
- みち やま かつ み 道 山 勝 美（岐阜県・羽島郡危険物安全協会 会長） ----- 7
- しら い ゆき のり 白 井 幸 則（滋賀県・湖南防火保安協会 副会長）
- さわ だ あき ひろ 澤 田 明 広（京都府・東山防火協会 会長） ----- 8
- たけ うち のぼる 竹 内 昇（京都府・久御山町防火危険物安全協会 会長）
- いし い あき お 石 井 章 雄（大阪府・吹田市公衆集合場防火協会 副会長） ----- 9
- ます い ます た ろう 梶 井 増太郎（大阪府・東住吉防火協力会 会長）
- よし むら ゆき じ 吉 村 幸 滋（大阪府・寝屋川市防火協会 会長） ----- 10
- し みず みつ はる 清 水 光 晴（山口県・あさひ保育園幼年消防クラブ 会長）
- たま やま のぶ たか 珠 山 信 孝（山口県・源空寺保育園幼年消防クラブ 会長） ----- 11
- なか やま こ 中 山 せつ子（山口県・日置婦人防火クラブ 会長）
- まつ えだ し ほ こ 松 枝 志保子（山口県・須恵保育園幼年消防クラブ 会長） ----- 12
- あら き しん じ 荒 木 眞 治（福岡県・みやま市防災協会 理事）
- おお つぼ りょう へい 大 坪 良 平（福岡県・柳川市防災協会 会長代理） ----- 13
- ご とう たけし 後 藤 猛（福岡県・城島町防火委員会 会長）
- たか い きん じ 高 井 欣 司（福岡県・一般社団法人北九州市防災協会 LP ガス部会 --- 14

副部会長)

2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- ^{たんごかみちようかいじしゅぼうさいかい} 丹後上町会自主防災会（埼玉県） ----- 15
- ^{あかさかさいがいよぼうきょうかい} 赤坂災害予防協会（東京都）
- ^{ぎふしじよせいぼうか うんえいきょうぎかい} 岐阜市女性防火クラブ運営協議会（岐阜県） ----- 16
- ^{とのうちじしゅぼうさいかい} 戸ノ内自主防災会（兵庫県）
- ^{まるやまちくぼうさいふくし} 丸山地区防災福祉コミュニティ（兵庫県） ----- 17
- ^{ほんごうち ちょうめだい だい じよせいぼうか} 本河内2丁目第1・第2女性防火クラブ（長崎県）
- ^{いっばんざいだんほうじん きょうにんかい} 一般財団法人 杏仁会（熊本県） ----- 18
- ^{こうえきしゃだんほうじん くまもとけんせいしんかきょうかいくまもとけん さと} 公益社団法人 熊本県精神科協会 熊本県あかねの里（熊本県）
- ^{いりようほうじん せいりゅうかいじけいびよういん} 医療法人 聖粒会慈恵病院（熊本県） ----- 19

3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- ^{ふじ えだ てつ や} 藤 枝 哲 也（埼玉県・春日部市庄和消防団 団長） ----- 20
- ^{すず き しげる} 鈴 木 茂（東京都・国分寺市消防団 団長）
- ^{やま かわ えい ゆう} 山 川 栄 勇（新潟県・妙高市消防団 団長） ----- 21
- ^{みや もと みつ あき} 宮 本 光 明（富山県・富山市消防団 団長）
- ^{ふじ もと たかし} 藤 元 敬（岡山県・真庭市消防団 団長） ----- 22
- ^{ひがし ひろ し} 東 弘 志（山口県・周防大島町消防団 団長）

4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（女性防火クラブ員）

- ^{いけ だ みつ え} 池 田 光 恵（北海道女性防火クラブ連絡協議会 副会長） ----- 23
- ^{さ さ き てい こ} 佐々木 貞 子（宮城県女性防火クラブ連絡協議会 会長）
- ^{こう けつ ふ み こ} 額 額 富美子（群馬県女性防火クラブ連絡協議会 副会長） ----- 24
- ^{さくら ざわ ひで こ} 櫻 澤 秀 子（新潟県女性防火クラブ連絡協議会 会長）
- ^{まつ むら いく み} 松 村 育 美（山口県女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 25
- ^{こ にし く み こ} 小 西 久美子（香川県女性防火クラブ連絡協議会 会長）
- ^{うえ まつ よし こ} 上 松 淑 子（高知県女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 26

安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

個人の部

やま だ
○山田 はるみ

宮城県・仙台市女性防火クラブ連絡協議会 顧問

平成25年、仙台市若林地区女性防火クラブ連絡協議会会長に、また、令和元年5月には仙台市女性防火クラブ連絡協議会会長に就任し、地域活動を軸に豊富な防火知識と経験を活かし、防火防災意識の普及啓発のため尽力してきた。

仙台市女性防火クラブ連絡協議会会長在任中は、新たな女性防火クラブのあり方醸成に取り組み、活動の活性化やクラブ員の活躍の場を創出することで、その行動力と指導力を発揮してきた。

令和元年6月からは、宮城県女性防火クラブ連絡協議会の要職に就き、仙台市内はもとより、宮城県全体の防火防災力向上に寄与してきた。

現在は、仙台市女性防火クラブ連絡協議会顧問に就き、会の育成発展に多大な貢献をしている。

ほし ゆたか
○星 豊

福島県・喜多方地方消防防災協会 顧問

平成7年に喜多方地方消防設備等協会理事に就任し、平成15年には副会長、平成19年から平成25年まで会長として、高い見識と卓越した指導力により会の充実と育成発展に尽力した。

さらに、平成26年の喜多方地方消防防災協会設立には発起人の一人として携わり、設立以降令和7年3月まで顧問の立場から同協会を管理監督し、喜多方地方の地域防災力の向上に寄与した。

また、平成18年から平成23年まで一般社団法人福島県消防設備協会の理事及び副会長の要職に就き、福島県内における保守点検業務等の適正な事業推進に多大な貢献をしている。

ながしま きよし
○長島 清

埼玉県・羽生市危険物防火安全協会 会長

平成13年5月に羽生市危険物安全協会理事、平成16年5月には副会長（平成22年4月羽生市危険物防火安全協会へ名称変更）、平成24年5月に会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により協会の育成発展に尽くしている。

消防機関及び関係団体と連携した活動を通じ会員相互の融和親睦を図り、危険物施設における安全管理や事故防止の普及啓発活動に積極的に取り組んでいる。さらに、秋季火災予防運動期間に行われる羽生市防火ポスター展に協賛し、児童の火災予防思想の普及啓発や健全な育成にも努めている。地域住民からの信頼も厚く、地域の防火防災意識の高揚に尽力し、安全・安心な地域社会づくりの推進に多大な貢献をしている。

また、平成28年5月に（公社）埼玉県危険物安全協会連合会の監事、令和元年5月には理事に就任し、県域における危険物の事故防止と安全管理体制の確立に多大な貢献をしている。

やまぐち よしろう
○山口 佳郎

埼玉県・川越地区危険物防火安全協会 会長

平成16年6月、川越地区危険物安全協会副会長に、また、平成29年6月から会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力を発揮し、長年にわたり防火防災思想の普及に努めている。平成24年には川越地区危険物防火安全協会へ名称変更し、協会の更なる発展と健全な運営に尽力している。

さらに、事業者の防火・防災管理および保安体制の充実強化に積極的に取り組むとともに、火災予防思想の普及啓発をあらゆる機会に推進している。その結果、会員はもとより消防機関や地域住民からも厚い信頼を得ており、地域の安心・安全なまちづくりに多大な貢献をしている。

○^{はやし}林^{たかし}敬

千葉県・船橋市自衛消防協会 会長

平成18年5月、船橋市自衛消防協会理事に就任し、平成24年5月に副会長、平成30年5月には会長に就任して以来、会員からの深い信頼を集め、高い識見と卓越した指導力により会の充実と育成発展に尽力している。

この間、船橋市自衛消防協会の会長として、毎年、6月の危険物安全週間に、地域の危険物事業所及び消防機関との連携のもと協会の「火災等の災害防止と災害に因る被害の軽減を図る」という目的を達成するため、自衛消防上必要な知識と技術の向上、危険物安全管理講習会を行い、危険物施設等の災害防止に取り組み、安心、安全な地域づくりに努めた。

また、令和3年に一般社団法人千葉県危険物安全協会連合会監事に就任、令和5年から副会長の要職に就き、県民への危険物取扱者や危険物取扱事業所への安全管理の徹底と意識の高揚に多大な貢献をしている。

○^{いしわた}石綿^{まさる}勝

東京都・世田谷防火管理協議会 相談役

昭和63年から現在に至るまで、世田谷防火管理協議会の幹事、副会長を歴任後、平成24年5月から会長へ就任し、37年にわたり防火防災思想の普及に努めてきた。令和7年5月からは相談役となり、引き続き同会の育成発展に尽力している。

この間、消防行政への深い理解のもと、世田谷消防署と消防協働団体と連携・協力して各種事業の推進や防火防災技術の普及向上を積極的に図るとともに、豊富な識見と卓越した指導力により会員からの信頼も厚く、会員相互の融和親睦と連携体制の強化を進めながら、地域住民や事業所関係者への防火防災思想の普及啓発及び防火防災行動力の向上に多大な貢献をしている。

かわさき けいぞう
○川崎 慶藏

東京都・玉川危険物安全協会 会長

平成21年5月、玉川危険物安全協会会長に就任し現在に至る。火災予防運動等の行事で、先頭に立ち地域住民に呼びかけ、防災意識の高揚に努めた。平成16年に東京都石油商業組合世田谷支部長に、令和6年、第三方面支部長(世田谷地区長を兼務)に就任し、地域の給油取扱所を代表し積極的に区や区内各消防署と連携し保安全管理の徹底に努めた。第三消防方面内の各防火管理研究会と危険物安全協会との合同連絡会を会長として開催し、危険物事故防止や防火管理に関し意識を向上させた。放火防止、住宅火災対策に関し各種行事を支援協力し資料を配布するなど、現在も積極的に防災思想の普及を図り、安心して安全な街づくりに貢献している。

さいとう かめぞう
○齊藤 亀三

東京都・調布災害防止協会 会長

平成21年に、調布災害防止協会会長に就任し、以来、会員からの深い信頼を集め、会の発展に尽力している。

この間、調布消防署や消防関係団体と連携、協力した各種行事等に関わり、市内事業所や地域における防火防災思想の普及と防災行動力向上のため、防災関連施設等の視察研修の実施や火災予防運動時の巡回広報等を積極的に推進した功績は、誠に顕著であり他の模範である。

さらに、公益財団法人東京連合防火協会の理事や調布市花火大会実行委員会会長を務めるなど、消防機関や地域住民の信頼も厚く、安心・安全な地域社会の実現に向けて、多大な貢献をしている。

すずき のりみち
○鈴木 規方

東京都・田園調布防火管理研究会 会長

平成21年、田園調布防火管理研究会会長に就任し、以来、会員からの深い信頼を集め、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力している。

その間、会員事業所のみならず、田園調布消防署管内事業所の震災対策、自衛消防技術の向上、防火管理体制の強化及び住民の防火防災意識の向上を図るとともに、その豊富な識見と卓越した指導力により、育成・技術の向上に尽力し、地域の安心・安全に寄与している。

また、平成18年からは、田園調布消防懇話会の要職に就き、会員はもとより消防機関や地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

すずき また え も ん
○鈴木 又右衛門

東京都・千住防火管理研究会 会長

平成15年5月に千住防火管理研究会に入会と同時に副会長に就任、際立った指導力と信望の厚さが評価され、平成17年5月には会長に推挙される。以来20年以上にわたり、火災予防意識の高揚と地震等による被害の軽減を図るため、防火管理知識と自衛消防活動技術の推進を通じて自主防火管理能力の向上に尽力するとともに会員相互の融和と東京消防庁千住消防署との連携を図り、地域の安全・安心を実現すべく幅広い活動を続けている。

さらに、千住防火管理研究会のほか消防署協働団体の要職も兼任し、各会相互の連携と事業の推進に尽力し、会員はもとより消防機関や地域住民からの信頼も厚く、地域の防災力向上に多大な貢献をしている。

たかはし つとむ
○高橋 勤

岐阜県・一般財団法人岐阜県消防設備協会 部会長

平成20年5月に一般財団法人岐阜県消防設備協会の前身である財団法人岐阜県消防設備保安協会の理事に就任、平成24年6月から部会長に就任して以来、火災から生命及び財産を守る消防用設備等の適正な設置、維持管理において関係業界との連携を深め、事業者の責任感や使命感の醸成、資質の向上に努めるとともに、安心して暮らせる安全な地域社会と環境づくりに尽力している。

また、平成19年6月に西濃電気工事協同組合の理事長に就任し、南海トラフ地震など大規模な災害に備え、市町と応援協定を締結するなど市民生活に多大な影響を与える電力供給の応急復旧に関し、積極的に取り組んでいる。

なかやま のりこ
○中山 紀子

岐阜県・郡上市女性防火クラブ 会長

平成21年4月、郡上市女性防火クラブ副会長に、また、平成29年4月には会長に就任して以来、豊富な見識と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

さらに、平成30年4月には岐阜県女性防火クラブ運営協議会の副会長に就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、郡上市はもとより岐阜県の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

みちやま かつ み
○道山 勝美

岐阜県・羽島郡危険物安全協会 会長

平成11年5月に羽島郡危険物安全協会の役員に就任して以来、危険物に起因する災害防止を目的として、会員諸施設の安全管理の推進及び保安体制の確立に努め、同協会の運営発展に尽力した。監事、副会長を歴任し、平成26年5月に同協会の会長に就任し、現在に至るまで協会の運営発展に多大な貢献をしている。

また、協会の各種行事において防災意識の普及・啓発に献身的に取り組み、率先垂範の姿勢は会員のみならず、地域住民からも厚い信頼が寄せられている。当協会はもとより各種団体の要職も兼任し、各会の育成発展への取り組みを通じて、地域住民の防火防災意識の高揚に大いに貢献している。

しら い ゆきのり
○白井 幸則

滋賀県・湖南防火保安協会 副会長

平成18年5月に湖南防火保安協会南・西支部理事、平成21年5月に湖南防火保安協会南支部理事（平成21年に南・西支部から南支部に名称変更）、平成23年5月に湖南防火保安協会南支部副支部長および湖南防火保安協会理事（広報委員長）、令和2年5月湖南防火保安協会南支部副支部長、湖南防火保安協会副会長に就任され、豊富な識見と卓越した指導力により、防火思想の普及・啓発に尽力されている。

特に、大規模災害発生時における湖南広域消防局と事業所の連携体制を確立させるため平成18年に締結された「災害時の消防活動等支援に関する協定」に著しく尽力され、消防・防災の指導者として、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

さわ だ あきひろ
○澤田 明広

京都府・東山防火協会 会長

平成24年4月、東山防火協会副会長に、また、令和3年4月から会長に就任して以来、高く豊富な見識と地域からの厚い信頼に基いた、強いリーダーシップにより会の育成発展に尽力した。

消防署及び消防団との強い連携のもと、地元大学にデザインの協力を得て誕生させた東山消防署のマスコットキャラクター「東りゅうくん」の着ぐるみと共に街頭に立つなど、火災予防及び防災を呼び掛ける広報活動に積極的に取り組むとともに、自主防災会及びジュニア消防団等への支援を行うなど、地域住民の防火・防災意識の啓発と高揚に取り組まれており、その功績は顕著で、地域に多大なる貢献をしている。

たけうち のぼる
○竹内 昇

京都府・久御山町防火危険物安全協会 会長

平成25年4月久御山町防火危険物安全協会の前身である久御山町危険物安全協会副会長に就任し、平成29年からは久御山町危険物安全協会、久御山町防火管理連絡協議会の発展的合併により発足した久御山町防火危険物安全協会の会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力されており、会員から絶大なる信頼を得ている。

消防本部と共催で、防火管理研修会や危険物取扱従事者研修会を開催し、会員事業所の防火防災意識の高揚に尽力されている。また、火災予防運動や危険物安全週間を積極的に推進し、火災予防思想の普及・啓発に尽力するなど安心安全なまちづくりに多大な貢献をしている。

いし い あき お
○石井 章雄

大阪府・吹田市公衆集合場防火協会 副会長

平成13年3月の入会当初から吹田市公衆集合場防火協会副会長に就任しており、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くし、さらに、吹田市公衆集合場防火協会と吹田市工場危険物防火協会、吹田市建設業防火協会、吹田市家庭防火クラブ連絡協議会で構成される吹田市防火連合会の会計監査にも4度就任されるなど、吹田市公衆集合場防火協会のみならず、各防火協会の育成活動を積極的に行うことにより、防火思想の普及・啓発に大きく尽力した。また、吹田市の消防・防災の指導者として、市民の防火・防災意識の高揚に努め、吹田市の安心・安全の都市（まち）づくり及び火災発生への減少に多大な貢献をしている。

ます い ます た ろう
○榊井 増太郎

大阪府・東住吉防火協力会 会長

平成22年6月、東住吉防火協力会副会長に、また、平成24年6月には会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

さらに、令和4年7月には大阪市連合防火協力会の会計理事に就任されるなど、各種の消防協力団体の要職に就き、会の育成発展を通して防火思想の普及・啓発に尽力し、東住吉区はもとより大阪市の消防・防災の指導者として活動しており、消防署が実施する住宅、高齢者、独居老人等の防火指導、防火・防災講演会などの開催には各役員を通じて協力体制を整え、消防行政の円滑な推進に尽力している。また、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

よしむら ゆきじ
○吉村 幸滋

大阪府・寝屋川市防火協会 会長

平成18年6月に寝屋川市防火協会に入会、平成20年6月からは同防火協会理事として地域の火災予防活動に尽力、平成30年6月に同防火協会会長に就任し、令和6年7月からは枚方市寝屋川市防火協会連絡協議会の会長の要職に就き、消防機関が行う火災予防広報活動を支援するなど、防火防災に対する功績は誠に顕著である。

消防署が実施する春と秋の火災予防運動中の訓練や各種研修会、防火広報キャンペーン等に積極的に参加され、寝屋川市防火協会会長として会員の先頭に立ち、火災予防のリーダーとして献身的に活動しており、消防行政はもとより、地域住民の火災予防に対する高い意識の醸成と防火意識の普及啓発に多大な貢献をしている。

しみず みつはる
○清水 光晴

山口県・あさひ保育園幼年消防クラブ 会長

平成24年4月1日にあさひ保育園の理事長兼園長に就任以来、あさひ保育園幼年消防クラブの会長として、クラブ員の育成指導に尽力している。

同クラブの活動は、同氏が先頭となってクラブ員を指導し、防火・防災・防犯に関する知識を身につけるための避難訓練、絵画を制作して火災予防作品コンクールへの応募、また全国火災予防運動期間中には、防火パレードによる地域住民への防火宣伝など多岐にわたっている。そのほかクラブ結成以来、地域の行事等において防火クラブ員の衣装での鼓笛隊演奏や防火法被を着用しての和太鼓演奏を行うとともに、保育園での運動会の防火競技・演技に防火の誓いや防火標語を取り入れて、防火広報を実施するなど、地域の人々への防火宣伝活動も積極的に行っている。

防火に関する幼児教育や地域防災を担う人材育成に尽力しているのみでなく、地域に対する火災予防広報を積極的に実施しており、岩国地区防火委員会の一構成団体の代表者として、長年にわたり地域住民の防火意識の高揚と啓発に多大な貢献をしている。

たまやま のぶたか
○珠山 信孝

山口県・源空寺保育園幼年消防クラブ 会長

平成21年、源空寺保育園幼年消防クラブの会長となり、クラブの指導者として現在に至る。人格高潔にして責任感が強く、クラブの指導を積極的に推進している。

また、毎年、春季全国火災予防運動に合わせて山火事防止杭設置行事を行い、山口県及び柳井地区広域消防組合と合同での予防広報活動にも力を注いでいる。

平成26年からは、山口県消防クラブ連合会の理事を務め、県内の消防クラブの相互連携に尽力している。

幼少期における防火思想及び山口県大島郡周防大島町の住民に対する防火の普及啓発に努めた功績は誠に顕著である。他の幼年消防クラブ指導者の模範であり、地域における防火防災の主導者である。

なかやま こ
○中山 せつ子

山口県・日置婦人防火クラブ 会長

平成14年、日置婦人防火クラブの前身である日置町婦人防火クラブの会長に就任して以降、22年間代表としてクラブ員を力強く牽引している。各種消防行事、防災訓練、地域行事、消防操法大会への参加、住宅用火災警報器の普及啓発活動の推進、防火に関するオリジナルエコバックの配布など、クラブの年間行事計画を精力的に推進してきた。

これらの地域主体の活動に加え、県主催の女性防火クラブ研修会や水バケツ消火競技にも毎年参加し、県内のクラブ員との情報交換を通じてクラブ員相互の資質の向上をさせるなど、日置婦人防火クラブの育成強化及び地域の防火意識の高揚に多大なる貢献を果たしている。

まつえだ し ほ こ
○松枝 志保子

山口県・須恵保育園幼年消防クラブ 会長

平成25年、須恵保育園幼年消防クラブ会長に就任後、クラブ員、指導者、保護者、市民に対し多様な方法で防火思想の普及啓発活動を展開している。

クラブ員には毎月、様々な災害を想定した避難訓練を実施し、それぞれの災害に応じた避難方法を教え、指導者には各災害ごとの注意点や連携の重要性を再認識できるよう、防火防災に関する知識を習得し向上させるよう熱心に取り組んでいる。

保護者及び市民に対しては、防火餅つきや防火和太鼓、春の火災予防運動週間に大型商業施設での防火絵画展示などを通じて防火思想の普及活動を行い、クラブの枠を超えて地域全体に多大な貢献をしている。

あら き しん じ
○荒木 眞治

福岡県・みやま市防災協会 理事

平成21年、みやま市防災協会の理事に就任し、豊富な識見とその卓越した指導力により、役員として長きにわたり会の発展に尽力している。

ひとり暮らし高齢者世帯への住宅用火災警報器設置促進事業を継続して実施し、市内の設置率向上に大きく貢献している。また、各種防災事業を通して、会員の防災意識の高揚に努め、防火・防災思想の普及に努めている。

さらに、協会の運営に対して積極的に携わり、会員相互間の架け橋として会員からの人望も厚く、会の育成発展に大きく寄与するとともに、地域全体の安全・安心なまちづくりに多大な貢献をしている。

おおつば りょうへい
○大坪 良平

福岡県・柳川市防災協会 会長代理

平成4年、柳川市防災協会理事に就任、平成25年から副会長、令和6年から会長代理として協会を率いており、責任感が強く豊富な経験と見識の広さにより協会会員の信頼を集め、融和・発展に尽力している。

また、消防行政への理解は深く、様々な各行事を通して自ら先頭に立って会員事業所及び地域住民への防火思想普及啓発を行うと共に、地域の指導者として安全で安心できる街づくりに多大な貢献をしている。

ごとう たけし
○後藤 猛

福岡県・城島町防火委員会 会長

昭和60年の城島町防火委員会設立当初から、40年に渡り指導者として常に先頭に立ち、城島町防火委員会の発展、事業運営に尽くしてきた。

平成29年からは会長に就任し、城島町防火委員会が運営指導を行っている、城島町少年消防クラブ（城島町3つの小学校5,6年生）を対象に実施している、防災宿泊研修や、遊防火大会、祭典のパレード参加等では、自ら先頭に立って、危機管理の重要性や防火防災思想についてクラブ員に指導を行い、また城島町少年消防クラブの活動を通して、地域住民の防火防災意識の高揚に大いに貢献してきた。

たか い きん じ
○高井 欣司

福岡県・一般社団法人北九州市防災協会 LP ガス部会 副部長

平成19年5月、北九州市防災協会（平成23年7月一般社団法人北九州市防災協会として法人化）LPガス部会の副部長に就任し、LPガスの保安体制確立と災害対応力の向上に継続的に取り組み、地域防災力の強化に尽力している。毎年実施する保安講習会では、法改正や重点対策事項を踏まえた内容により、関係者の保安意識と技術向上に寄与している。加えて、防災訓練や啓発イベントにおいては、市民と連携しながらLPガスの安全性や有用性の普及に努めている。さらに、公共施設での実演訓練を通じ、災害時の具体的な活用方法を伝えるなど、その活動は地域社会から高く評価され、地域の安全・安心なまちづくりに多大な貢献をしている。

団体の部

○たん ご かみちようかい じ しゅぼうさいかい丹後上町会自主防災会

(本部長 今野 和夫)

所在地 埼玉県三郷市

平成元年1月に結成して以来、「自分の命は自分で守る 私たちの街は私たちが守る」というスローガンのもと、初期消火訓練、救護訓練などを含んだ防災訓練を積極的に実施しており、災害時の行動力の向上に努めている。防災訓練だけでなく、千葉県西部防災センターなど複数の防災学習施設への研修を実施しており、地域の防災リーダーの育成にも力を入れている。

また、令和元年に旧後谷小学校避難所運営委員会を立ち上げて以降、危険場所を想定した避難コースや避難所レイアウトを作成し、実際に避難誘導訓練を実施するなど、災害初動対応の面で当市の地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

○あかさかさいがい よ ぼうきようかい赤坂災害予防協会

(会長 中村 太朗)

所在地 東京都港区

赤坂災害予防協会は、昭和33年6月、赤坂防火責任者連盟の設立以来、今日まで長年にわたって、東京消防庁赤坂消防署管内の防火管理者相互の研究団体として活動を続け、防火対象物における火災予防の徹底と地域住民の防火防災意識の高揚に尽力している。

また、事業所の防火管理者に対する防火防災管理の知識や技術の習得をはじめ、職場の防火防災教育や自衛消防訓練の推進等に対して、積極的かつ継続的に取り組み、地域の安全・安心の実現に向けて寄与するとともに、消防行政機関及び関係団体との連絡調整を図り、防火思想の高揚と防災行動力の向上に多大な貢献をしている。

○岐阜市女性防火クラブ運営協議会

(会長 森 けい子)

所在地 岐阜県岐阜市

昭和51年に婦人防火クラブとして「家庭の防火」を目的に結成されて以来、各事業の推進を図るとともに、家庭における防火・防災対策、応急手当や消火器の取り扱い、倒壊家屋からの救出方法など災害時に役立つ様々な情報の発信を率先して行ってきた。

また、春季・秋季全国火災予防運動では、住宅火災による死者の低減を図るため、住宅用火災警報器の設置や、維持管理について消防職員とともに住宅防火啓発広報を実施し、年2回発行される女性防火クラブたよりを各家庭へ配布をすることで、地域住民の防火意識を高め、市内全域に女性防火クラブの活動を紹介し、火災予防の啓発、安全安心なまちづくりに多大な貢献をしている。

○戸ノ内自主防災会

(会長 山口 昇次)

所在地 兵庫県尼崎市

戸ノ内自主防災会は、防災についての知識、技能を習得して、自主的な防災体制を確立することにより、災害による被害の軽減を図るために、平成11年に結成された自主防災会である。

同会は、河川に囲まれた水害リスクの高い土地に位置していることから、住民の防災意識が強く、普段から地域防災力の向上に努めている。

具体的な取組としては、消防団等の協力のもと、防災訓練を実施しており、要配慮者の避難訓練等を取り入れている。

また、近隣大学の学生にも訓練の参加を呼び掛けるなど、地域課題の共有や次なる担い手の育成に努めている。

これらの取組は、他の自主防災会の模範となり、地域防災力の向上に多大な貢献をしている。

まるやま ち く ぼうさいふく し
○丸山地区防災福祉コミュニティ

(本部長 谷川 浩巳)

所在地 兵庫県神戸市

阪神淡路大震災の経験や教訓から平成9年3月に結成され、地域内の各種団体とともに活動している。

大災害が発生したときには自助・共助が必要になることから、助け合いの精神や顔の見える関係を醸成するとともに、防災活動や福祉活動に精力的に取り組んでいる。

地域内での防災訓練では、消防団と連携して地域内にある溜池で放水訓練を行ったり、地震災害や土砂災害の想定訓練を行うなど、地域住民の防災力向上と将来の防災を担う若年者の育成を目的として活動を継続的に行っている。

また、毎月発行される自治会報を活用して防災情報の発信を行い、地域住民の防災意識の向上を図っている。

ほんごうち ちょうめ だい だい じょせいぼう か
○本河内2丁目第1・第2女性防火クラブ

(代表 古田 千代子)

所在地 長崎県長崎市

昭和46年6月に本河内2丁目自治会区域における火災予防の推進と防火思想の普及徹底を目的に結成された。結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という高い意識のもとに、消防局が実施する消防出初式、女性防火クラブ幹部研修会及び市民防火のつどい等各種行事に積極的に参加し、会員の防火防災意識の高揚に努めているほか、地域での防火防災訓練の実施にも率先して参画するなど、自主防火体制の中心的存在として活動している。

また、火災予防運動期間中の防火広報や地域住民による歳末消防警戒に伴う夜警に参加するなど幅広い活動を展開するとともに、火災予防のチラシやパンフレット等を地域住民に配布し火災予防を呼びかけるなど、地域の防火防災意識の高揚に大きく貢献している。

いっばんざいだんほうじん きょうにんかい
○一般財団法人 杏仁会

(理事長 伊津野 良治)

所在地 熊本県熊本市

昭和6年9月に社団法人熊本脳病院設立後、昭和7年5月に財団法人設立、昭和25年12月に現在の財団法人杏仁会となり、その後、複数の施設を運営しながら平成26年4月に現在の一般財団法人杏仁会となる。長年にわたり、地域医療への貢献に努めるとともに、広範囲に様々な福祉サービスをシームレスに提供しながら地域住民との協働による防火・防災体制の確立に貢献している。

また、平成10年5月の熊本市防災協会の設立時から協会員として、今日に至るまで本市における防火・防災思想の啓発活動にも積極的に参加している。

こうえきしゃだんほうじん くまもとけんせいしん か きょうかい くまもとけん さと
○公益社団法人 熊本県精神科協会熊本県あかねの里

(里長 倉永 和人)

所在地 熊本県熊本市

熊本県精神科協会が運営している熊本県あかねの里は、昭和56年設立以来、長年にわたり適切な防火管理に努め、毎月の訓練のほか、消防用設備等の操作手順や使用方法についても職員全員で確認を行うなど、職員及び利用者ともに「火災予防」「災害対策」に対して高い意識をもっている。地域貢献やボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、地域住民や近隣小学校、大学生の実習のため、施設を開放し多数の利用実績がある。平成28年の熊本地震や令和2年の人吉の豪雨災害では、避難所として3か月以上地域住民を受け入れるとともに、被災地への物資の支援や人的支援を行い、被災した医療機関に軽自動車1台を提供している。

い りょうほう じんせいりゅうかい じ けいびょういん
○医療法人聖粒会 慈恵病院

(理事長 蓮田 健)

所在地 熊本県熊本市

明治31年(1898年)創立、昭和53年(1978年)に医療法人を設立以来、防火・防災のための関係法令の遵守はもちろんのこと、新規採用職員には、防火・防災に関する研修を実施し、職員に対する防火・防災教育の徹底を図っている。

救急医療では、各消防機関と連携し、傷病者の救命を第一に24時間体制で救急医療を実践すると共に、災害発生時における医療体制の確保についての知識の普及啓発活動や救急症例検討会などを行い、救急活動の向上に努めている。また、平成28年(2016年)熊本地震の際には、病院本館とマリア館が被災するも避難者を受け入れ、地域の防災拠点として、地域住民の安全・安心を図っている。

消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び女性防火クラブ員

消防団員

○^{ふじえだ}藤枝^{てつや} 哲也

埼玉県・春日部市庄和消防団 団長

昭和50年4月庄和町消防団員を拝命、その後、平成17年10月春日部市との合併により春日部市庄和消防団員を拝命、50年余の永きにわたり消防業務に精励してきた。農業を営むかたわら、地域防災に日夜献身的な努力を続け、平成25年3月団長に就任以来、現場において各分団との連携を図り被害の軽減に尽力し、消防団の運営にも積極的に関わり、充実発展に貢献した。

豊富な知識と経験をもとに教育にあたり、消防ポンプ車操法、訓練札式はもとより、消防機械器具の操作、点検整備、訓練及び災害時の安全管理、さらには交通安全思想の向上に努める。その積極的かつ情熱的な教育、指導姿勢は高く評価するところであり、その功労は多大である。

○^{すずき}鈴木^{しげる} 茂

東京都・国分寺市消防団 団長

平成4年に入団以来、33年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。部長・分団長・副団長を経て、令和4年4月1日団長を拝命し現在に至る。長きにわたり消防団活動に尽くし、現在においても豊富な知識経験を持って団員の育成と消防力強化に努め、団長として団をまとめ上げる能力は著しく、消防団活動を続ける熱意とその手腕は団員等しく認め敬意を表するところである。

令和6年10月国分寺市東恋ヶ窪にて発生した火災において、団長として、率先して消火活動の指揮にあたり、的確な現場監視位置をとり、各分団の活動を良く管理し、何事にも常に率先垂範で部下を指導しながら現場関係機関との情報収集、連携に努め、冷静な判断により、延焼防止にも努力をした。

やまかわ えいゆう
○山川 栄勇

新潟県・妙高市消防団 団長

団員拝命以来現在まで46年間、消防使命達成のため職責に奉じてきた。氏は各階級を通じて上級者に協力、団員との融和、団結を図り、消防精神に徹して訓練、演習に励むとともに自己の研鑽に努め、旺盛な士気と郷土愛護の精神により、消防使命達成のため鋭意努力を重ねた。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では最大震度5強を市内で観測し、住家等への被害もあったが、団長として豊かな経験による知識と適切な判断力・指導力をもって住民避難誘導等を指示するなど、ともに活動を行う団員だけではなく市民からの信望も極めて厚い。

また、平成26年6月からは、新潟県消防協会の副会長や理事として尽力し、その功績は誠に顕著である。

みやもと みつあき
○宮本 光明

富山県・富山市消防団 団長

昭和57年に入団以来、永きにわたり各種災害による被害の軽減に努めるなど、郷土の防災に対する姿勢は、他の模範である。

消防団長として、消防団員数の減少を増加に反転させるため精力的に活動しており、その一環として、令和5年度に「ラッピング路面電車（ファイトラム）による消防団員募集事業」を実施した。

消防団入団を促すラッピングが施された路面電車が市街地を周回することで、多数の市民の方々に向け視覚的にアピールすることができ、入団者が、前年同時期の3.5倍に増加した。

また、平成25年からは、富山県消防協会の執行部役員となり、富山県全体の消防団の活性化等に尽力し、その功績は誠に顕著である。

○^{ふじもと}藤元^{たかし}敬

岡山県・真庭市消防団 団長

昭和57年に入団以来、長年に亘り率先して地域消防、防災活動に専し団員の訓練強化に尽力し、平成25年には真庭市消防団団長を拝命し、地域消防、消防施設の整備確立、防災活動に貢献している。

令和6年3月8日、日本消防協会表彰の最高位『特別表彰まとい』を受賞した際には、厳しい訓練に励む団員を激励し、統率することで、団全体の士気を高め、団員の資質向上に貢献した。

また、平成25年4月から岡山県消防協会の理事として、真庭市消防団のみならず岡山県下全消防団のために尽力しており、その功績は誠に顕著である。

○^{ひがし}東^{ひろし}弘志

山口県・周防大島町消防団 団長

昭和56年に入団以来、44年余の永きにわたり、一貫して消防使命の重要性を認識し、地域住民の安全確保の達成に対する姿勢は、他の模範である。

令和7年4月24日～27日に出動した行方不明者の捜索では、氏が自らの豊富な経験と知識を遺憾なく発揮して的確に捜索範囲を指示し、無事行方不明者を救助した。氏の高度な指揮能力は長年の経験の裏付けであり、その功績は誰もが認めるものである。加えて団員の教育訓練や火災予防思想の普及徹底にも多大な貢献をしている。

また平成27年度から現在に至るまで山口県消防協会理事を、令和3年6月から令和5年6月まで日本消防協会評議員として尽力されており、その功績は誠に顕著である。

女性防火クラブ員

いけだ みつえ
○池田 光恵

北海道女性防火クラブ連絡協議会 副会長

平成13年4月1日に小樽市桂岡町内会女性防火クラブ部長に就任して以来、率先して地域の防火・防災の普及啓発活動に参加し、平成30年に小樽市女性防火クラブ連絡協議会会長に就任、火災予防運動中は市内の大型店舗で少年消防クラブ員と街頭広報や防火パレードを実施するなど火災予防啓発活動を積極的に行っている。

また、平成29年に北海道女性防火クラブ連絡協議会理事に就任、平成31年には同連絡協議会副会長に選任され、北海道内各地の連絡協議会の発展に寄与しており地域防災力向上の牽引者としての功績は顕著であり、他の模範である。

ささき ていこ
○佐々木 貞子

宮城県女性防火クラブ連絡協議会 会長

平成25年4月1日石巻市桃生婦人防火クラブ（当時）に入会、平成27年4月同クラブ会長を経て、平成29年4月石巻地区婦人防災活動連絡会（当時）会長に就任し、広域的なクラブの発展に寄与した。

令和3年4月宮城県女性防火クラブ連絡協議会（現）副会長を経て、令和5年6月12日から同連絡協議会会長に就任した。以来、会長として「自分たちの地域から火災を出さない、自分たちの地域は自分たちで守る」をスローガンに家庭における防火思想の普及啓発を図るため、研修会や各種の防災訓練に積極的に参加し、防火意識の向上に努め、地域防災の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

こうけつ ふ み こ
○ 瀬 富美子

群馬県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

平成17年に前橋市女性防火クラブに入会し、平成21年には地元地区の地区会長に就任。その功績と人柄から、平成28年に前橋市女性防火クラブ連絡協議会の会長に就任し、また、令和元年度からは群馬県女性防火クラブ連絡協議会の副会長の要職に就き、地域防災行事などにリーダーとして積極的に参加・協力し、後進の育成指導に励むなど前橋市のみならず群馬県の火災予防思想の普及啓発に多大な貢献をしている。

さくらざわ ひで こ
○ 櫻澤 秀子

新潟県女性防火クラブ連絡協議会 会長

平成21年12月、水沢女性防火クラブ発足時から会長に就任し、以来、豊富な識見と卓越した指導力により、会の育成発展に尽くした。とりわけ高齢者世帯等を訪問した防火指導や、地区ごとの防火防災活動へ積極的に協力し、長年にわたり市民の防火防災意識の高揚に貢献した。

令和5年には新潟県女性防火クラブ連絡協議会の会長に就任し、会の育成発展をとおり、防火思想の普及・啓発に尽力している。消防・防災の指導者として地域住民からの信頼も厚く、また、「自助・共助・近助の大切さ」を意識した活動は、安全で安心した暮らしに多大な貢献をしている。

まつむら　いくみ
○松村　育美

山口県女性防火クラブ連絡協議会　会長

平成7年、須々万婦人防火クラブ（令和6年に須々万女性防火クラブへ名称変更）発足時から地域の防火活動に積極的に参加し、平成26年、同クラブの委員長に就任後、豊富な識見と卓越した指導力により、同クラブの育成発展に尽くしている。

令和2年9月、山口県女性防火クラブ連絡協議会の会長に就任し、その人望や人派を活かして地元消防団や少年消防クラブと連携した防火パトロールや火災予防啓発を率先して行うなど、防火・防災に対する意識の高揚に寄与している。また、日本防火・防災協会会長賞受賞後も、消防機関及び関係団体が実施する事業に積極的に参加し、地域全体の防災力向上を図り、安全・安心の普及・啓発に多大な貢献をしている。

こにし　くみこ
○小西　久美子

香川県女性防火クラブ連絡協議会　会長

平成12年、高松市春日地区女性防火クラブ発足時から、会長として、率先して地域での防火活動に積極的に尽力し、令和2年には高松市女性防火クラブ連絡協議会の会長に就任し、令和7年には香川県女性防火クラブ連絡協議会の会長に就任した。日本防火・防災協会会長表彰受賞後も、「自分達の町や地域は、自分達で守る。」を合言葉にクラブ間相互の連絡を密にし、自主運営を基調とした家庭における防火思想の普及啓発や研修会の開催に努め、防火意識の向上に多大な貢献をしている。また、火災予防に関する知識向上を図るとともに、地域に根差した防災力の牽引者としての功績は極めて顕著であり、他の模範である。

うえまつ よしこ
○上松 淑子

高知県女性防火クラブ連絡協議会 会長

平成27年、夜須女性防火クラブの委員長及び香南市女性防火クラブ1連合会の副会長に、平成29年には会長に就任し、香南市の防火・防災活動に多大なる貢献をしている。

平成29年6月、高知県女性防火クラブ連絡協議会の理事に就任し、令和元年6月に副会長、令和5年6月には会長に就任し、現在、防火クラブ員の高齢化が顕著に進んでいるため、若年層への呼びかけや県下全域にわたる各女性防火クラブ活動の活性化など幅広い知識と豊富な経験を生かし、日本防火・防災協会会長表彰受賞後も、協議会の中心メンバーとして、リーダーシップを遺憾なく発揮し、積極的に活動する姿勢は、他の協議会役員の模範となるものである。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	27	36
	団体	9	
消防功労者表彰	消防団員	6	13
	女性防火クラブ員	7	